

コロナ禍における公共交通の感染症対策について

○公共交通感染症対策事業

・国の地方創生臨時交付金を活用して、公共交通の感染症対策に対する支援を実施。

①キャッシュレス決済の導入

精華くるりんバスにICカードシステムの導入。

運賃支払い時の接触を最小限にすることで、利用者の感染リスクの軽減。

予算としては、機器はすでに車両に設置されているため、機器の調整費用約8万円を計上。

②公共交通事業者への補助

バス車両の感染症対策に対する補助を実施。

住民がより安心して利用できるように、バス車内の抗菌対策を実施。

補助率等は調整中で、予算としては以下の費用の1/2分を計上。

精華くるりんバス：約24万円（12万円×2台）

路線バス：約300万円（奈良交通の全体の路線長を精華町内の路線長で按分）

○その他の対策

・精華くるりんバス及び東西連絡通路にコロナ禍における公共交通利用方法の啓発チラシを掲示。

・奈良交通において、ガイドラインに基づくコロナ対策を実施。